

ベネズエラにおける石油探鉱区の落札について

平成 17 年 11 月 16 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（本社 東京都渋谷区、社長 梶岡雅俊）は、ペトロブラス社と共同でベネズエラ・ボリバル共和国のベネズエラ湾第 2 次石油探鉱公開入札に参加し、Moruy（モルイ）II 鉱区の落札に成功しました。本公開入札は同国ガスライセンス法に基づいて実施されたものであり、当該鉱区に係るライセンスは本年 11 月末に正式に付与される予定であります。鉱区の概要は以下のとおりです。

Moruy II 鉱区（面積：874km²）

- (1)位置：ベネズエラ湾南東部（首都カラカスより西方約 450km）
- (2)権益構成：ペトロブラス社 50%（オペレータ）、当社 50%
- (3)義務作業：3 年の探鉱期間内に 2 次元地震探鉱 500km 実施、試掘井 1 坑掘削

当社は今後 3 年の間に本事業に対し約 20 億円の投資を予定しており、運営にあたってはペトロブラス社と共同で現地法人を設立し、本事業を推進していく予定です。

当社は中南米及び北アフリカを重点地域として海外事業を展開しており、ベネズエラにおいては 1993 年以降、当社子会社を通じてイースト・ゲアリコ鉱区及びサンビ・グエレ鉱区においてオペレータとして順調に石油、天然ガスの生産を続けていると同時に、San Carlos（サンカルロス）鉱区及び Tinaco（ティナコ）鉱区における天然ガス探鉱事業も展開しており、本探鉱区への獲得は、同国での事業をさらに強固なものにする案件と位置づけております。

中南米で、最大手の石油開発会社であるペトロブラスグループと当社はベネズエラ（San Carlos 鉱区及び Tinaco 鉱区）をはじめ、メキシコ及びエクアドル（権益譲渡に係る政府承認手続中）においても共同で石油、天然ガスの開発事業を進めております。本件は同グループとの 4 件目のプロジェクトとなり、これら共同事業を通じて、両社の協力関係は更に強化されることとなります。

以上

【鮎区位置図】

